

地域を
変える
チカラに

地域
おこし
協力
隊

活動報告

近藤 千恵子さん

加藤 美和子さん

この度、1年間の任期を終え、ANAの客室センターに帰任することになりました。

短い期間でしたが、お世話になりました肝付町の皆様に、この紙面をかりて心よりお礼申し上げます。

私は南信州の山の麓の育ちで、やはり着任した当初は、異なる環境や文化、言葉の違いなどに少し戸惑いもありましたが、地元の方々に温かく迎えて頂き、様々な行事に参加させてもらい、とても新鮮で濃縮された貴重な1年間を過ごすことができました。

こちらでの任務として、観光振興や情報発信、接遇やマナーの講話を担当しましたが、次第に肝付町の人たちのもつ「歓迎の気持ち」や「心遣い」こそ『おもてなし』の原点と考えるようになりました。帰任した後、ここで学んだ『おもてなしの心』を現場で活かしていきたいです。

任期を延長し、完成した「YORIPまち歩きMAP」の活用や、幅広い世代に向けた講話を行い、地域の活性化に貢献したいと願っていただけに悔いは残りますが…

これからも肝付町を『第二の故郷』と思う気持ちは変わりません。時々、この地に戻ってきたいと思っていますし、どこにいても「肝付町の協力隊」という気持ちで、私はこの町を応援していきます。

肝付町に移住して早3年。3月いっぱい地域おこし協力隊の任期が満了となります。宮崎県にいた頃にロケットの打ち上げを見てその魅力に取りつかれ、地域おこしで肝付町を応援しようとやってきたのが昨日のことに感じられます。きっかけはロケットでしたが、肝付町には私の知らなかった魅力がたくさんありました。文化財や豊かな自然はもちろん、何気ない町の風景や人々のあり方は、まるで父親のように背中であげてくれたり、母親のように見守ってくれる温かな存在でありました。反省点を挙げればきりがありませんが、肝付町で暮らした3年間は私の宝物です。

協力隊の仲間、そして大隅半島の有志で作った「あなたとわたしと…宇宙人も!? 五感で旅する大隅半島よりみちMAP」では、イラストを描かせていただきました。肝付町など大隅半島の魅力を宇宙人目線で楽しく紹介しています。役場などで入手できますので、ぜひご覧になってみてくださいね。結婚を機に肝付町を離れ、大分県に引っ越すこととなりますが、引き続き肝付町を応援しています。3年間、ありがとうございました。皆さん、お元気で。